



2005 ITU Triathlon World Championships

Gamagori, Aquathlon

2005 ITU トライアスロン世界選手権蒲郡大会

アクアスロン

8 September 2005



女子はシーラ・タオルミナ、男子はティム・ドンが優勝

2005 ITU トライアスロン世界選手権蒲郡大会は、9月8日（木）に開幕した。

エリート、アンダー23、ジュニアのレースに先立ち、まず8日にはアクアスロン世界選手権が行われた。

7名が参加して午後7時にスタートした女子は、第1ランでレンカ・ラドバ（チェコ）がトップに立ち、庭田清美（アシックス・ザバス）がすぐ後ろを追走する形となった。すぐ後には、カーラ・モレノ（ブラジル）、アンナマリア・マツェティ（イタリア）、シーラ・タオルミナ（アメリカ）が追う展開。

スイムに入ると、タオルミナが自力を発揮して序盤からトップを奪うと、ぐんぐんと後続を引き離れた。庭田もよく頑張って食い下がり、44秒の差でタオルミナに続いて水から上がった。

第2ランでは、スイムでのアドバンテージを活かしてタオルミナが逃げた。後ろから、モレノとラドバが追い上げる。その結果、優勝したのはタオルミナ。2位にはモレノが入り、3位にはラドバが入った。庭田は惜しくも4位だった。

レース後タオルミナは、「ナイトゲームのアクアスロンなんて初めての経験。涼しくて気持ちよかった。世界選手権のいいスタートが切れた」と喜んだ。

午後7時45分スタートした14名の男子は、第1ランの序盤からティム・ドン（イギリス）が飛ばし、パウロ・ミヤシロ（ブラジル）、リチャード・スタナード（イギリス）、シェーン・リード（ニュージーランド）、フランチェスコ・チェチン（イタリア）が追う展開。日本選手の古川哲也（チームゴーヤー）は、第1ランを13位で終えた。

スイムでは、ランの上位4名が順位を変えながらも上位で泳ぎ切り、トップで第2ランへ移ったのはスタナードだった。ミヤシロ、リード、ドンがそれに続く。

第2ランでは、やはり第1ランからの快走をつづけたドンがランラップ1位で逆転し、優勝した。2位には同じくイギリスのスタナードが入り、3位はミヤシロだった。

ドンは、「水面が明るくて泳ぎやすい。こんなファンタスティックな体験は初めてだ」と、笑顔で答えた。

同時に行われた一般選手参加のメモリアルアクアスロンでは、中学生女子は山本奈央（愛知県協会）が男子は大岩恭平（愛知県協会）が優勝。一般の部では、女子は輪島裕美（早稲田大学）が、男子は楠直人（東海大学）が優勝した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

